

# メイツとウェブリオが 英検2次対策向けスピーキング専用アプリを共同開発

株式会社メイツ（東京・新宿区、遠藤尚範代表）と、ウェブリオ株式会社（東京・新宿区、辻村直也代表）は、ウェブリオが提供する「AI英会話ナンナ」の人工知能（AI）技術を用いた「英検®2次対策向けスピーキング専用アプリ（仮称）」を開発することを明らかにした。

メイツは、学習塾の英検対策ソリューションとして、既にタブレット学習アプリ「学習塾専用英検アプリ」を提供している。学習塾が英検講座を開く際には、専用カリキュラムの用意、指導ノウハウを持つ講師の採用、配点が高いリスニング対策環境の整備など多くの手間がかかる。

メイツはこのような教育現場への解決策として、生徒自身が勉強を進めていくことで、講師の負担を最小限に抑えて英検対策講座を開講できるアプリを開発した。

## ベネッセHD

### ぐんぐんとの資本業務提携強化により オンライン英会話事業を拡大

#### 学校向け事業および通信教育事業において連携を強化

株式会社ベネッセホールディングス（岡山市北区、安達保社長以下・ベネッセHD）は、オンライン英会話サービスを提供する株式会社ぐんぐん（本社・東京都港区、以下・ぐんぐん）と2015年に資本業務提携を行い、ベネッセの子会社である株式会社ベネッセコーポレーションの学校向け事業を中心に、オンライン英会話事業を展開している。

ベネッセHDは、ぐんぐんの発行済株式を追加取得した。これにより、出資比率は現状の11・8%から34・1%となる。

ぐんぐんとの資本業務提携の拡大により、ベネッセコーポレーションは、オンライン英会話事業領域のさらなる強化を図るといふ。

ることができ、塾の現場での人材不足や運営コストの削減などが期待される。アプリを共同開発するメイツによると、2020年の大学入試改革に向けて、英語は2技能（読む、聞く）の評価から4技能（読む、聞く、話す、書く）の評価に変わるため、スピーキングに対応できるようにAIを活用していくという。

メイツは、同社が運営する首都圏12教室の学習塾での評価から4技能（読む、聞く、話す、書く）の評価に変わるため、スピーキングに対応できるようにAIを活用していくという。

メイツは、同社が運営する首都圏12教室の学習塾での評価から4技能（読む、聞く、話す、書く）の評価に変わるため、スピーキング専用アプリを導入する。そこで合格率や学習効果などの実証を行い、2018年度中には他塾への展開も目指す。

## 新CMで「新技」を披露

### 明光義塾のヘッドコーチに 内村公平選手が就任

#### 個別指導塾「明光義塾」を全国展開する株式会社明光ネットワークジャパン

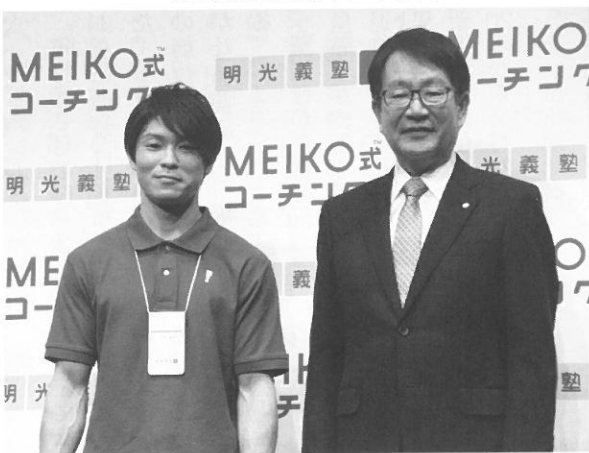
「内村航平ヘッドコーチ就任発表会」を開催した。明光義塾は、2018年1月から新学習指導要領に対応した授業内容に変更するなど、新たな取り組みを順次開始している。そのひとつが新しい指導メソッド「MEIKO式コーチング」だ。

ワードになっているアクティブラーニングの基礎をしっかりと作る」と田上社長はMEIKO式コーチングについて語り、そのシンボルとして体操金メダリストの内村航平選手を起用した。

「学びの主役は生徒。『分かる』『話す』『身につく』を通じて、講師は生徒の力を引き出し、サポートする。生徒は受け身の勉強ではなく、主体的に学ぶ力、課題を解決する力を伸ばしていく。これがMEIKO式コーチングのコーチと生徒との関係です」と、田上社長は続ける。

内村選手は、発表会で「新技」も披露。1月23日から全国でオンエアされる新テレビCMで見ることもできる。

内村選手は、「選手としては、コーチに力を引き出してもらうって、今年も良い結果を残せるように、明光義塾のヘッドコーチとしては、生徒の力を引き出す存在として全力でがんばっていききたい」と力強く抱負を語った。



内村さんと田上社長のツーショット

「生徒は自分で考える力、表現し、対話する力を伸ばしていく。教育改革でキー

「生徒は自分で考える力、表現し、対話する力を伸ばしていく。教育改革でキー

先生の求人が  
¥4,980で  
できる!!

掲載も検索もスカウトも。  
先生探しに特化した  
全く新しい求人サービス

<http://tmone1.com>

お気軽にお問い合わせください!

TEL 06-6777-8770

TeachersMarket